

農技セ第 5040 号
令和 8 年 8 月 21 日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長

令和 8 年度農作物病虫害発生予察情報について

令和 8 年度農作物病虫害発生予察注意報第 5 号を発表したので送付します。

令和 8 年度病虫害発生予察注意報第 5 号

令和 8 年 8 月 21 日
徳 島 県

8 月 11 日～15 日に行った巡回調査において、ナシ栽培圃場のハダニ類（図）の発生が平年に比べて多く、今後、本虫による被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

生産現場におきましては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：果樹類（ナシ）

病虫害名：ハダニ類

1. 発生地域 県北東部のナシ

2. 発生時期 8 月中旬～

3. 発生程度 中～多(前年よりやや多く、平年より多い)

4. 注意報発令の根拠

- (1) 8 月 11 日～15 日に行ったナシの巡回調査では、ハダニ類の発生圃場率が 100%と、平年(79.3%)に比べてやや高く、寄生葉率は 49.0%と、平年(16.8%)に比べて高い。
- (2) 高松地方气象台が 8 月 13 日に発表した 1 か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並みと予想されており、発生助長的な気象条件である。

5. 防除法等

- (1) 多発すると防除が困難になるため、表を参考に、発生初期から防除を行う。
- (2) 葉裏にも十分な量の薬液がかかるよう丁寧に散布する。
- (3) 薬剤抵抗性が発達する恐れがあるので、同一系統薬剤の連用は避ける。

- (4) 早期落葉すると樹勢を弱めるので、発生の多い園では収穫後にも防除を行う。
- (5) その他、防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、
薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。



図 ナシ葉への被害（注）

（注）葉に白い斑点やカスリ状の模様を発生させ、茎葉の伸長が悪くなる、
落葉するなどの被害を生じるため、収量に大きく影響する。

表 ナシでハダニ類に登録のある農薬

（登録内容：2026年8月18日現在）

農薬の名称	希釈倍数	散布液量	使用時期	使用回数	RACコード
カネマイトフロアブル	1000～1500倍	200～700L/10a	収穫前日まで	1回	20B
コロマイト乳剤	1000～1500倍	200～700L/10a	収穫前日まで	1回	6
ダニオーテフロアブル	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	1回	33
ダニコングフロアブル	2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	1回	25B
マイトコーネフロアブル	1000～1500倍	200～700L/10a	収穫前日まで	1回	20D